

# 会 議 録

会 議 の 名 称	平成 31 年度第 5 回上尾市子ども・子育て会議	
開 催 日 時	令和 2 年 1 月 28 日 (火) 午後 1 時 30 分から午後 2 時 45 分	
開 催 場 所	上尾市役所議会棟 4 階 全員協議会室	
議長(委員長・会長)氏名	中村 磐男	
出席者(委員)氏名	新藤孝子、戸野部直乃、伊藤由美子、入野麻希、遠山貴洋、 吉田雄二、外石馨、萩原和也、鈴木玲子、大川原恵子、田中元三郎、 城所典子、大場玲子、西川達男、小林斗志子	
欠席者(委員)氏名	内藤友里、久芳敬裕	
事務局(庶務担当)	<p>【子ども未来部】 部長 柳真司、次長 清水千絵</p> <p>【子ども支援課】 課長 内田雅幸、主幹 松木ヒロシ、主事 和田一駿</p> <p>【保育課】 課長 井上雅文、主幹 藤波伴安、副主幹 濱田信子、 主事 水城祥冴</p> <p>【青少年課】 主幹 角田広高、主任 米川奈津子、主事 小泉翔太郎</p> <p>【子ども・若者相談センター】 所長 堀口めぐみ、主査 新田武志</p> <p>【健康福祉部健康増進課】 課長 加藤浩章、副主幹 半田敦子</p> <p>【(株)アールピーアイ栃木 (計画策定コンサルティング)】 代表取締役 室井忠顕、副主任研究員 島拓也</p>	
会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果
	① 第 2 期上尾市子ども・子育て支援事業計画 (案) について ② 答申について ③ 特定地域型保育事業所の利用定員の設定について ④ その他	①承認 ②承認 ③承認 ④報告
議 事 の 経 過	別紙のとおり	傍聴者数 5 名

会 議 資 料	資料1 第2期上尾市子ども・子育て支援事業計画 素案 資料2 第2期上尾市子ども・子育て支援事業計画（案）に対する意見募集の結果 資料3 修正箇所一覧 資料4 特定地域型保育事業所利用定員の設定について

## 議事の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>1. 平成31年度第5回上尾市子ども・子育て会議</p> <p>(1) 開会</p> <p>(2) 議題</p> <p>①第2期上尾市子ども・子育て支援事業計画(案)について (資料1、資料2、資料3) 事務局より説明</p>
入野委員	<p>本計画の最終案ということですが、計画策定後に国で新たな施策が示されたり、関連する新しい事業が出てきたりした場合は、その都度計画に盛り込むのでしょうか。それとも別の事業として運営するのでしょうか。</p>
事務局	<p>必要に応じて令和4年度に中間の見直しを行うこととされておりますので、計画的に取り組んでいく事業が増えた場合には新たに検討することになると思います。</p>
入野委員	<p>最近の情報として、令和2年度の国の予算案の中に、保育ソーシャルワークの取り組みが入ってきそうだというニュースを拝見しました。予算が成立し、保育所等における要支援児童等対応推進事業という保育所での新しい動きが入ってきた時に、上尾市の子ども・子育て支援事業計画に盛り込まれるのか、別の動きとして運営するのかが気になって質問しました。</p>
事務局	<p>必要に応じて、進捗管理の中でプラスして盛り込んでいくかを検討していきたいと思います。</p>
鈴木委員	<p>国で、体罰等によらない子育ての推進に関する検討委員会を開いており、2019年6月に成立した児童福祉法の改正において、体罰が許されないものであることが法定化され、2020年4月1日からの施行に向けて検討されております。体罰によらない子育てを社会全体で探していこうという取り組みを実施していくことになるので、資料1、P61、第4章、基本目標3、「2. 児童虐待・DV等への対応」の部分に組み込み、その視点に触れられると良いと思いました。</p>
事務局	<p>文言を含め、すべてのことを書き入れるには限界がありますので、進捗管理の中で必要に応じて考えていきたいと思います。</p>
入野委員	<p>今から計画を変えることはできなさそうなので、別の事業として考えていただければと思いますが、子育て家庭へのアウトリーチという方法が各自治体に広がっているようです。上尾市でも「赤ちゃんギフト」などに取り組んでおりますが、赤ちゃんギフトは、両親が自ら保健センター等に向いて面談することでギフトを受け取るという事業になります。本当に支援を必要としている方が自ら助けを求めることは少ないと想像しているため、積極的にアウトリーチしていくことで支援が行き届くのではないかと思います。</p>
事務局	<p>アウトリーチ型のサービスについては、現在子ども支援課で検討しており、予算要求中です。</p>

事務局	健康増進課としては、「こんにちは赤ちゃん訪問事業」において、虐待などがないかを確認しながら全戸訪問を行っております。また、子ども・子育て支援事業計画とも整合性を図りながら、健康増進計画など、上尾市で策定している別の計画においてこのような事業が組み込まれていることをご理解いただければと思います。
入野委員	資料1、P45、第4章、基本目標1、1.親と子の健康づくりに向けた支援、(4)妊娠期・乳幼児期の食育・歯の健康づくり、「◇フッ素塗布の実施」について、フッ素塗布を受けるためには、決められた日に保健センター等に子どもを連れて行き、1,300円+税を支払ってフッ素を塗布してもらうこととなりますが、フッ素塗布を歯科医院で受けると、こども医療費制度が使えるため、実質無料となります。別の目的があるのであれば良いのですが、歯科医院で無料で受けられる事業を市が有料で実施しているのはなぜですか。
事務局	市では予防事業の一環として行っており、診療行為ではないため費用が発生しますが、診療に関してはこども医療費制度があるため歯科医院では無料となります。
会長	診療は保険でカバーされるが、予防は保険でカバーされないという事です。
外石委員	今の話は、一市民としては納得できない部分がありました。フッ素塗布に費用がどのくらいかかるのか、利用する方がどのくらいいるのかはわかりませんが、委員の皆様は様々な立場で来られているので、問題提起については時間をかけてでも検討や調査をする必要があると思います。
事務局	予防と診療の違いについてなど、勉強のためにも調査はしていきたいと思いますが、費用をどうするという事はこの場ではお答えできません。調査結果については、後日書面で回答することが可能か、事務局とも調整したいと思います。
会長	何十年も前の話ですが、カルテに「疑い」と書かれている方が検査を受けると保険の補助が該当するが、ただ健康診断を受けるだけでは保険には該当しないということがありました。フッ素塗布についても、診療、予防と難しい部分ではありますが、ご意見があったということをごに留めておいていただきたいと思います。
小林委員	本校には学校歯科医が入っておりますが、虫歯ができないようにこまめに歯磨きやフッ素塗布をしているなど、子どもの歯を見ることで家庭環境がわかるという話をしておりました。費用面についてはわかりませんが、歯からみる子どもというのも良い視点だと思いました。 資料1、P59、第4章、基本目標3、「1.障害のある子どもへの支援の充実」とありますが、本校においても障害のある子どもがサービスを受けながら学んでおります。第2期計画においても、子どもの障害を打ち明けられていない保護者やすべての子どもに手厚い支援が届くと良いと思いました。
会長	他に質問等がないようであれば、ただ今の議事については承認ということよろしいでしょうか。  一同承認

事務局	②答申について 事務局及び会長より説明
会長	審議結果が適切であるということで答申したいと思いますが、よろしいでしょうか。  一同承認
事務局	答申につきましては、会長、副会長からお願いしたいと思います。
事務局	③特定地域型保育事業所の利用定員の設定について (資料4) 事務局より説明
新藤委員 事務局 戸野部委員	親愛上尾第2保育園の1階の広さはわかりますか。 延べ床面積は合計で99.79㎡になっております。 親愛上尾第2保育園については駐車場が3台分あるということですが、交通量も多い場所になると思います。送迎についての安全性は保たれているのでしょうか。
事務局	中山道は歩道が確保されているため、歩行者と車の問題はないと思います。また、広く見通しの良い場所なので、車の出入りの際も安全が確保されていると思います。駐車場に関しては確保が難しい状況ではありますが、3台分の駐車場に加え駐輪場も確保しておりますので、配慮しながら運営するように指導したいと思います。
戸野部委員	昨年、大津市の保育園付近で大きな事故がありニュースにもなっておりましたので、自転車での通園についても安全性をしっかりと確保することが一つ大きな観点だと思い、質問させていただきました。
会長	大きな事故がありましたし、朝は自転車で急いでいる保護者がおりますので、注意が必要だと思います。
吉田委員	親愛上尾第2保育園の駐車場について、3台同時に駐車する場合、頭から入って中で切り返しをすることはできるのでしょうか。信号があり渋滞する場所でもあるので、バックでの出庫は危険だと思います。駐車場の確保後も、改善ができる部分がないか考えたほうが良いと思います。
萩原委員	利用定員について、うぐす保育園上尾原市は施設が広いので、もっと定員を増やしても良いと思ったのですが、定員は、市が地域のニーズに応じて設定しているのか、事業所で確保できる保育士の数等から設定しているのか教えてください。
事務局	特定地域型保育事業所については上限が19名という定員の設定があり、そのうえで、0歳、1歳、2歳の定員をどうするか検討することになります。親愛上尾第2保育園に関しては、賃貸の建物の中で保育を行うため、広さ等を考えて定員の上限を18名としました。
入野委員	保育需要が高い地域へ整備していただきありがとうございます。 来年4月から受け入れを開始するというので、この受け入れ枠が増えたことで、資料1、P77、第5章、第2節、「■提供量の見込み及び確保方策」の数字がどうなるのか興味があります。特に3号認定の1-2歳児は不足しておりますので、今回のみならず、認可保育施設の設置計画があ

事務局	<p>れば教えてください。</p> <p>今年度の4月時点で待機児童が15名おります。待機児童が発生している地域はどこなのか、どのくらい不足しているかということ踏まえて、今回は緑丘と原市に小規模保育所を設定しました。来年度以降につきましては、小規模保育所ばかり作っていても3歳児以降の問題が起きてしまうので、小規模と合わせ、認可保育所や認定保育所につきましても、待機児童の発生状況等をみながら引き続き検討し、問題を解消していきたいと思っております。</p>
入野委員	<p>去年の11月には来年度の申し込み受け付けが済んでいて、年度初めの需要は見えてきていると思います。うぐす保育園上尾原市と親愛上尾第2保育園の2園を設置することでその需要をカバーできそうなのか、それとも、カバーはしきれていないが、年度後半に向けて増えてくることが考えられる0歳、1歳児の需要を見越して、今ではなく、半年後などにタイミングをずらしての設置を考えているのか、検討していることがあれば教えてください。</p>
事務局	<p>そのようなことも含めて検討しております。待機児童が発生したからすぐに設置できるというわけではないので、事業所とも協議をしながら、必要など所に施設を配置することを引き続き行いたいと思います。</p>
入野委員	<p>引き続き整備を進めていただければと思います。特に今年は特殊な事情により、上平地区で待機児童が出るのではないかとということが考えられるので、時間はかかると思いますが、なるべく待機児童がでないように迅速な対応をしていただきたいと思います。</p>
外石委員	<p>今回の小規模保育所の設置については、事業者から持ち込んだのでしょうか、それとも上尾市から事業者にお願いしたものなのでしょうか。</p>
事務局	<p>回答は控えさせていただきます。</p>
外石委員	<p>他市では、待機児童がいる場所を行政が公開して、公募により提案を受けて市が事業所を選択しているの、保育の質も上がり効率が良いと思っていました。また、1歳児の枠が不足しているのであれば、認可保育園の定員枠を変えて、3歳、4歳、5歳の受け入れをせずに、1歳児の受け入れ人数を増やすということを行っているところもありますので、そのようなことも検討すると良いと思います。保育所が必要など所にきちんと設置できているのか、また、保育士不足により定員まで受け入れができていないところがあるのであれば、保育所の新設ではなく、保育士確保の対策が必要だと思っておりますので、検証が必要だと思っております。</p>
事務局 会長	<p>ご意見として承ります。</p> <p>他に質問等がないようであれば、ただ今の議事については承認ということよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>一同承認</p> <p>④その他 事務局より、しらこぼと保育所の運営及び委員任期について説明</p> <p>(3) 閉会</p>